



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	27,037	△1.7	1,391	5.2	1,492	6.5	972	△8.4
2022年3月期第3四半期	27,499	11.5	1,322	—	1,400	—	1,061	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,022百万円 (△4.9%) 2022年3月期第3四半期 1,075百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	666.70	—
2022年3月期第3四半期	717.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	29,483	13,481	45.2
2022年3月期	28,537	12,701	44.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,329百万円 2022年3月期 12,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2023年3月期	—	60.00	—		
2023年3月期（予想）				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	△3.7	1,350	0.8	1,460	0.6	1,000	2.8	679.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,645,360株	2022年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	192,957株	2022年3月期	173,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,459,007株	2022年3月期3Q	1,480,725株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の再拡大による感染者数増加の影響を受けながらも、感染症対策と社会経済活動を両立させる政府方針のもと、徐々に経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化および諸外国の金融政策に伴う為替の変動等による資源・原材料価格の高騰が消費財全般に影響を与えており、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業およびブライダル事業において増収増益となり、建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。

(カー用品事業)

2022年5月と9月にあったタイヤ値上げにおいて、値上げ前の営業活動による需要取り込みがあったのちもタイヤ販売は堅調に推移しました。冬季商品および収益性の高いピットサービス部門の需要は底堅く、車の出張買取等の施策を強化した車両販売は計画を上回る推移をした結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(ブライダル事業)

感染症の影響が落ち着いているなか、キャンセル・延期の減少や列席者数の回復を受け、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めておりますが、前第3四半期連結累計期間において複数の不動産物件を売却したことにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

(その他の事業)

コメダ事業については引き続き感染防止対策を徹底した店舗運営を行い売上高は順調に推移しました。販売費及び一般管理費は増加したものの、前年同期と比べ増収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,037百万円（前年同期比1.7%減）となり、営業利益につきましては1,391百万円（前年同期比5.2%増）、経常利益につきましては1,492百万円（前年同期比6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては972百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は29,483百万円となり、前連結会計年度末と比べ945百万円増加しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、12,412百万円（前連結会計年度末比1,366百万円増）となりました。主な増加要因は売掛金の増加（947百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、17,070百万円（前連結会計年度末比420百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（296百万円減）であります。

c. 流動負債

流動負債残高は、10,695百万円（前連結会計年度末比620百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（738百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、5,306百万円（前連結会計年度末比454百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（420百万円減）であります。

e. 純資産

純資産残高は、13,481百万円（前連結会計年度末比779百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（797百万円増）であります。

自己資本比率は、45.2%となり前連結会計年度末比1.1ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,130,979	1,829,751
売掛金	1,582,088	2,529,680
棚卸資産	6,305,296	7,079,909
その他	1,027,877	973,302
流動資産合計	11,046,241	12,412,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,090,217	4,793,678
土地	6,862,838	6,862,838
リース資産(純額)	37,854	31,922
建設仮勘定	3,761	34,672
その他(純額)	499,624	550,245
有形固定資産合計	12,494,297	12,273,356
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	44,282	66,832
無形固定資産合計	53,314	75,864
投資その他の資産		
投資有価証券	88,826	105,304
長期貸付金	19,440	19,040
長期前払費用	116,606	110,760
差入保証金	2,977,146	2,801,307
繰延税金資産	1,675,169	1,618,137
その他	87,359	89,615
貸倒引当金	△20,718	△22,753
投資その他の資産合計	4,943,829	4,721,412
固定資産合計	17,491,441	17,070,634
資産合計	28,537,683	29,483,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,207,716	2,666,083
短期借入金	4,653,076	5,391,576
リース債務	26,435	21,625
未払法人税等	132,258	234,703
未払消費税等	277,971	212,773
未成工事受入金	1,770	1,720
賞与引当金	440,201	225,032
その他	2,335,505	1,942,178
流動負債合計	10,074,934	10,695,693
固定負債		
長期借入金	2,988,096	2,567,112
リース債務	28,242	18,944
繰延税金負債	100,327	32,038
役員退職慰労引当金	446,004	464,441
退職給付に係る負債	591,126	616,456
資産除去債務	991,984	999,722
長期預り保証金	615,113	607,825
その他	625	—
固定負債合計	5,761,518	5,306,540
負債合計	15,836,452	16,002,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,066,453	10,863,710
自己株式	△599,413	△666,903
株主資本合計	12,605,930	13,335,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,593	19,069
退職給付に係る調整累計額	△27,984	△25,640
その他の包括利益累計額合計	△13,390	△6,570
非支配株主持分	108,691	151,917
純資産合計	12,701,231	13,481,044
負債純資産合計	28,537,683	29,483,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	27,499,469	27,037,201
売上原価	15,380,495	14,932,398
売上総利益	12,118,974	12,104,802
販売費及び一般管理費	10,796,657	10,713,299
営業利益	1,322,317	1,391,502
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,965	12,116
受取手数料	58,345	69,804
受取家賃	8,761	11,788
その他	46,102	52,148
営業外収益合計	126,174	145,857
営業外費用		
支払利息	31,701	25,124
その他	16,267	20,199
営業外費用合計	47,968	45,323
経常利益	1,400,522	1,492,036
特別利益		
固定資産売却益	1,154	5,793
助成金収入	25,656	210
役員退職慰労引当金戻入額	190,000	—
その他	18,826	—
特別利益合計	235,637	6,003
特別損失		
店舗閉鎖損失	42,854	6,626
固定資産除却損	3,805	2,910
和解金	17,280	—
その他	8,398	5,116
特別損失合計	72,338	14,652
税金等調整前四半期純利益	1,563,821	1,483,387
法人税等	486,746	467,442
四半期純利益	1,077,074	1,015,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,368	43,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,061,706	972,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,077,074	1,015,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,382	4,475
退職給付に係る調整額	2,344	2,344
その他の包括利益合計	△2,038	6,820
四半期包括利益	1,075,036	1,022,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,059,667	979,538
非支配株主に係る四半期包括利益	15,368	43,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

時価の算定に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	21,281,619	2,888,152	3,115,740	27,285,512	213,956	27,499,469	—	27,499,469
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,890	602	139,388	141,880	1,043,926	1,185,807	△1,185,807	—
計	21,283,509	2,888,755	3,255,129	27,427,393	1,257,883	28,685,277	△1,185,807	27,499,469
セグメント利益 又は損失(△)	832,719	△282,940	695,763	1,245,543	72,888	1,318,431	3,885	1,322,317

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	22,756,611	3,136,868	899,884	26,793,364	243,836	27,037,201	—	27,037,201
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,890	1,235	182,513	185,639	1,047,276	1,232,915	△1,232,915	—
計	22,758,501	3,138,103	1,082,398	26,979,004	1,291,112	28,270,116	△1,232,915	27,037,201
セグメント利益	1,013,770	270,036	28,775	1,312,583	76,975	1,389,558	1,944	1,391,502

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。